

所管事務調査を実施

総務企画常任委員会

調査日 7月11日(木)

調査内容

- ① 大山田菅沢の町有林の管理状況
- ② 第3分団第4部 分団車庫新築事業
- ③ 第3分団第3部 分団車庫新築事業
- ④ 税の収納状況について
- ⑤ 町の財政状況について
- ⑥ 里の守サポート事業実践活動モデル事業について



新築された分団車庫の調査

【調査指導事項】

- ① 税の収納状況について 収納率向上のためになお一層の努力をされたい。
- ② 町の財政状況について 大規模事業を想定し合併特例債の活用をするため、保育園の建設等計画的に進められたい。

教育民生常任委員会

調査日 7月12日(金)

調査内容

- ① 小川小学校ランチルーム(完成後の状況)
- ② 子育て支援センター(児童館廃止後の事業の状況)
- ③ わかあゆ保育園の状況
- ④ 馬頭健康管理センター(施設の状況)
- ⑤ 馬頭広重美術館(企画展

の状況)

- ⑥ 馬頭郷土資料館(常設展と運営状況)
- ⑦ 馬頭小学校体育館の状況(完成後の状況)
- ⑧ 馬頭中学校体育館の状況(現況及び今後の計画)

【調査指導事項】

- ① 子育て支援センター 健康管理センターの健診事業と連携した利用案内など施設を有効活用されたい。
- ② わかあゆ保育園 民間活力を活用した新しい方向性を視野に入れて、保護者の選択肢を増やすため特色ある保育を促進されたい。

- ③ 馬頭健康管理センター

床暖房も使用できない状況にあるので、早急に対策を考えるべきである。また、雨漏りについては、利用者も不便を感じるので応急の措置を図られたい。

④ 馬頭広重美術館
昨年度は入館者が増員し、その努力の結果

が認められるが、なお一層の努力をされたい。

- ⑤ 馬頭郷土資料館

住民が興味を持つ企画は当然だが、特に女性が興味を持つような事業を考えられたい。

- ⑥ 馬頭中学校体育館の状況 財源については、有利なもの確保されたい。また、学校側の意見を聴くなど要望に沿ったものにされたい。



子育て支援センターでの調査

教育民生常任委員会

⑤ 調査日 5月24日(金)

調査内容

5月8日に、小川小学校で発生した、教師による児童に対する体罰行為について、学校長及び担当課長に出席を依頼し、体罰行為の内容について聞き取り調査を行いました。

なお、次回は、児童の保護者に、委員会への出席を依頼し説明を受けることとしました。

調査日 7月25日(木)

調査内容

前回は、小川小学校で発生した体罰行為について学校長等から聞き取り調査を行いました。今回は、児童の保護者に委員会への出席を求め、聞き取り調査を行いました。

また、6月定例会で継続審査となっていた、「教育費無償化」の前進を求める陳情及び「ゆきとどいた教育」の前進を求める陳情について、関係者の出席を求め審査を行いました。

調査日 7月17日(水)

調査内容

- ① 下水道事業関連事業(馬頭処理場)
- ② ホンモロコ養殖事業(矢又地内)
- ③ 地域ブランド認定事業(古館のそば)
- ④ 町道新設改良事業(町道一渡戸大鳥線)
- ⑤ 東部地区簡易水道配水管布設替等工事(盛泉地内)

【調査指導事項】

① 下水道事業は、加入率が低いので、加入促進を図りたい。また、計画の段階で加入見込みがあるかどうか、確認のうえ事業を実施されたい。

② ホンモロコ養殖事業は、卵からのふ化技術の確立をしていくことがこれからの課題となるが、養殖グループを拡大するなど那珂川町の特産品として消費の普及を図りたい。

③ 地域ブランド認定事業については、地域ブ



下水道事業について調査

ランドとして認定されたことが商品の付加価値となり大きなメリットとなるような活用を図りたい。また、イベントなどでは、優先してPRされたい。

④ 町道新設改良(一渡戸大鳥線)は、県立馬頭高校下の交差点を超え、国道293号バイパスまで計画的に拡幅工事を実施を図りたい。

⑤ 配水管に石綿管が残っている場所については、計画的に布設替を実施されたい。また、県等との連絡を密にし、無駄のない事業の推進を図りたい。

「町議会に関するアンケート」のお願い

町議会では、平成24年6月に議会改革特別委員会を設置し、共通認識を持つための研修や話し合いを重ね、鋭意、議会改革に向けて取り組んでいます。

議会は、町の具体的政策の最終決定と、その政策が適法・適正に、しかも公平・効率的・民主的に行われているかを監視するという使命を担っています。

その使命を果たすためには、常に町民との対話を重ね、町民の声をくみ取りながら議論を重ねて調査研究を進めるものであり、併せて、その審議過程や議会活動をできるだけ皆さんに知っていただくことが大切であると考えています。

議会改革特別委員会の設置は、議会基本条例の制定を目標の一つに挙げ

ています。議

会基本条例の

制定に向け

て、まず、町

民の皆様が議

会をどのよう

に認識し、議

会に何を求め

ているか等を

把握すること

が重要な課題

であると考え

ております。

そこで、皆

様の率直なご

意見をたまわ

り、条例の制定はもとより

今後の議会改革の指針とす

べくアンケート調査を実施

することとしました。

この趣旨をご理解の上ご

協力をお願いいたします。

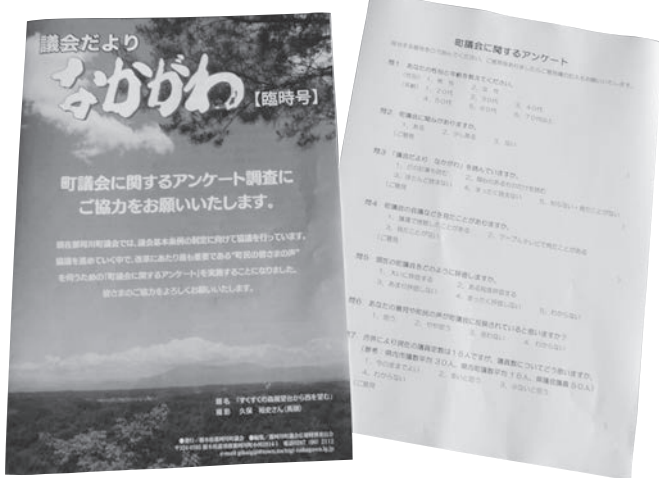
アンケートの提出方法

① 郵送による返送(切手は

不要です)

② 回収ボックス(馬頭庁

舎、小川庁舎、山村開発



町議会に関するアンケートにご協力を

センター)への投函

③ ファックスでの返信

④ メールでの返信

e-mail gikaigiji@town.

tochigi-nakagawa.lg.jp

提出期限 8月31日

提出先及び問合せ

議会事務局

TEL【96】2112

FAX【96】4545

議会行政調査

滋賀県愛荘町と三重県鳥羽市を調査

議員会会長 小川 洋一

7月1日から3日までの3日間にわたり、議員による行政調査を実施しました。1箇所目は那珂川町と姉妹都市提携をしている滋賀県愛荘町での調査と議会表敬訪問。2箇所目は、全国屈指の議会改革先進地である三重県鳥羽市を調査しました。

コンビニでの証明書の発行

コンビニエンスストア



ゆるキャラ「あしょうさん」が出迎えてくれました

での住民票等の発行については、愛荘町は、すでに平成20年度から実施しており、日曜日はもちろんのこと、平日も夜11時まで発行が可能となり、住民、特に勤労者から、大変喜ばれているのとこのことであります。

まだまだ、利用率が少ない状況ですが、栃木県内でも那須塩原市や那須町などが、すでにこの事業を行っています。住民票等を年間28000通発行している那珂川町においても、今後検討する価値があると考えます。

食物アレルギー専用の調理室が

次に、愛荘町の給食センターを訪問し、食育の取り組みについて説明を受けました。このセンターでは、毎日、

3000食が調理可能とのこと、現在は、町内小学校など8施設に給食を提供しています。



愛荘町の職員からの説明

食物アレルギー対応専用の調理室があり、給食の調理に関しては、アレルギーの食材が混入しないよう細心の注意がはらわれているということでした。

給食センターを核として体験教室など各種団体への開放や町民に対しての試食会なども実施し、さらには各学校のクラス単位での施設見学や親子での食育教室を開催し食物アレルギーの問題や食育に関して、きめ細やかな指導を行っています。

当町での給食事業でも見

習うべきだと感じました。

議会改革はアンケート調査から

愛荘町議会において、平成23年に議会改革の協議会を立ち上げ、他市町に視察研修を実施したほか平成24年度には、議会に対する意識調査として、住民アンケートを実施しています。

また、改革の先進地であり議会などが年間70団体程が視察に来る鳥羽市での議会改革に関しては、議会報告会や意見交換会などを実施し、広報公聴による開かれた議会を実現しています。

今回2箇所の議会改革について調査をして参りました。当町議会でも、12月の定例会までに、地域に合った議会基本条例を制定出来るかがこれらの私たち議員に課せられた課題となるでしょう。双方の素晴らしい取り組みを参考としてより良い町議会となるよう頑張ります。

大好評だった

「人生・いろどり」上映会

6月23日に、小川総合福祉センターあじさいホールで上映された、「人生・いろどり」に、町内にお住まいの方のほか他市町からもたくさんの方々が訪れました。

当日は、午後1時30分と4時30分の2回上映され、約500人の入場者がありました。

この映画は、実際に徳島県上勝町で行っている「葉っぱ事業」を映画化したもので、お年寄りが活躍しているところを描いたものです。

映画を見終わった方々は、「素晴らしい映画だった」「四国の田舎の町で、本当にこんなことが出来たのか」「生きがいに年齢は関係ない」などと話していました。

議会でも、上映に際して協力させていただきましたが、多くの方に、会場に足を運んでいただき、大変感謝しております。

当町でも、少子高齢化が叫ばれています。お年寄りの活躍の場は、身近な所にいくらでもあることに気付かされた映画でした。

庁舎建設並びに消防庁舎建設検討特別委員会の経過

■第13回特別委員会の結果
開催日
平成25年5月15日

内容

執行部に出席を求め、山村開発センターを候補地とする判断に至った経緯について説明を受け、その後、質疑を行いました。

■第14回特別委員会の結果
開催日
平成25年6月21日

内容

◎都地区に消防庁舎用地を確保

執行部から消防庁舎建設用地交渉の経過及び今後の手続きについて説明があり、都地区に消防庁舎敷地の確保が可能になったことが説明されました。その後、執行部に対して疑問点などについて質疑を行いました。

■第15回特別委員会の結果
開催日
平成25年7月25日

各委員から疑問点につ

いて意見を聴取し、9月までに庁舎建設場所の方向性を見い出すことが確認されました。

議会改革特別委員会の経過

■第3回特別委員会の結果
開催日
平成25年6月5日

内容

6月19日に議会改革に関する研修会を開催することを決定。

講師 新潟県立大学 准教授 田口 一博氏
場所 小川総合福祉センター

■第4回特別委員会の結果
開催日
平成25年6月26日

内容

今後のスケジュール及び町議会に関するアンケート調査の実施についてを協議し、8月に「議会だより」の臨時号を発行し、アンケート調査を行うこととしました。

議会改革特別委員会小委員会の経過

■第4回特別委員会小委員会の結果
開催日
平成25年5月22日

内容

議会基本条例の制定に向けての研修会の開催や条例制定までのアドバイスを受けるため予算の範囲内で、講師を依頼することに決定しました。

なお、講師は、町議会会議長会からの推薦もあり、新潟県立大学准教授の田口一博氏にお願いすることとしました。

■第5回特別委員会小委員会の結果
開催日
平成25年6月24日

内容

今後のスケジュールについて協議を行い、町民に対するアンケートを実施することになりました。

■第6回特別委員会小委員会の結果
開催日
平成25年7月25日

内容

アンケート調査の内容確認及び議定基本条例案について検討を行いました。

議会改革に関する研修会を開く

議会改革特別委員会
委員長 鈴木 雅仁

6月19日(水)、小川総合福祉センターにおいて、新潟県立大学の田口一博准教授を講師にお迎えし、「議会改革に関する研修会」を開催しました。

田口先生は、地方自治制度・議会運営・基本条例など行政や議会改革に関する様々な講演会や研修会を全国各地で行っています。

先生は、研修会に先立ち本特別委員会正副委員長からの意見聴取や特別委員会小委員会への事前研修を実施。当町議会の実情に則した改革を進める為の実態調査などを行いました。そしてそれらを基に「議会改革特別委員会」での講義を実施、延べ2日間にわたる熱のこもった研修となりました。

議会改革の目的と基本条例の制定を軸に、住民・執行機関と議会の関係性、議会運営・議員のあり方について受講し

ました。議会改革の目的として、議会はまず町民が何を望んでいるかを把握することが大切であるとの事。議会のことをよく知って頂き(広報)、議会に対して何を望んでいるかを聴く(公聴)など、その手段としてアンケート調査の実施や公聴会の開催が提案され、これらの実施について議会改革特別委員会で検討することになりました。

田口先生による第2回研修会は9月27日に開催する予定です。



研修を受講する各委員